

みずほCustomer Desk Report 2022/03/22号 (As of 2022/03/18)

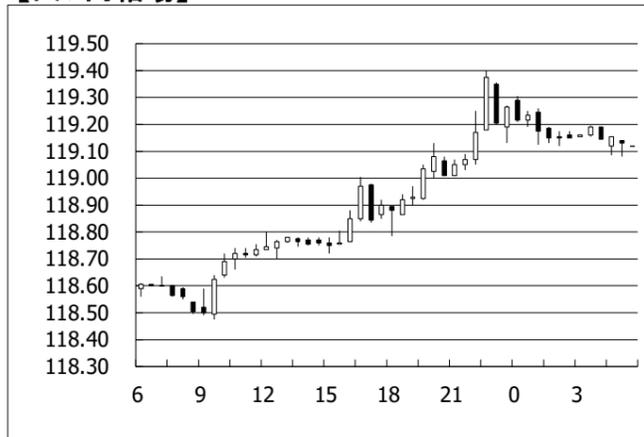
市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

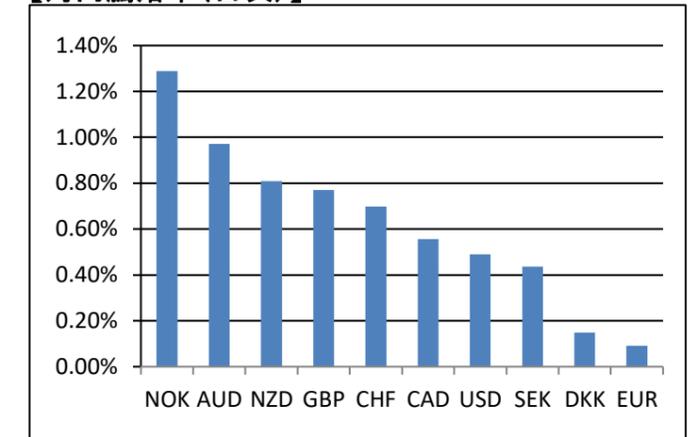
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	118.70
TKY 9:00AM	118.50	1.1099	131.59	GBP/USD	1.3167
SYD-NY High	119.40	1.1118	131.95	AUD/USD	0.7384
SYD-NY Low	118.48	1.1004	131.20		
NY 5:00 PM	119.15	1.1051	131.67		

NY DOW	34,754.93	274.17	日本2年債	-0.0300	0.00bp
NASDAQ	13,893.84	279.06	日本10年債	0.2100	1.00bp
S&P	4,463.12	51.45	米国2年債	1.9413	2.75bp
日経平均	26,827.43	174.54	米国5年債	2.1453	0.46bp
TOPIX	1,909.27	10.26	米国10年債	2.1512	▲1.41bp
シカゴ日経先物	27,085	550	独10年債	0.3655	▲1.95bp
ロンドンFT	7,404.73	19.39	英10年債	1.4945	▲6.90bp
DAX	14,413.09	25.03	豪10年債	2.5500	3.90bp
ハンセン指数	21,412.40	▲88.83	USDJPY 1M Vol	6.96	0.23%
上海総合	3,251.072	36.03	USDJPY 3M Vol	7.18	0.23%
NY金	1,929.30	▲13.90	USDJPY 6M Vol	7.24	0.23%
WTI	103.09	1.44	USDJPY 1M 25RR	-0.30	Yen Call Over
CRB指数	292.25	1.52	EURJPY 3M Vol	9.45	0.14%
ドルインデックス	98.23	0.26	EURJPY 6M Vol	9.31	0.19%

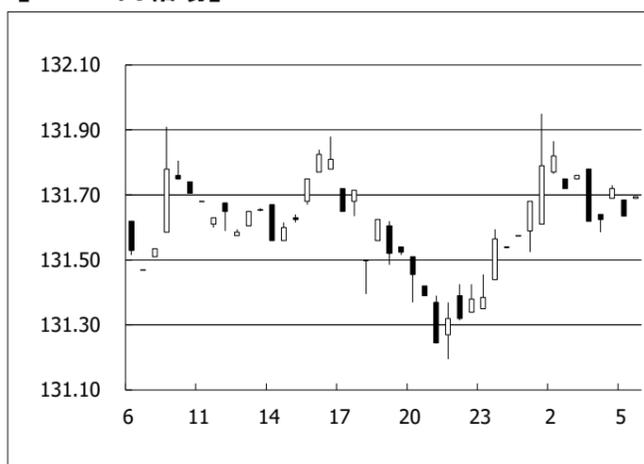
【ドル円相場】



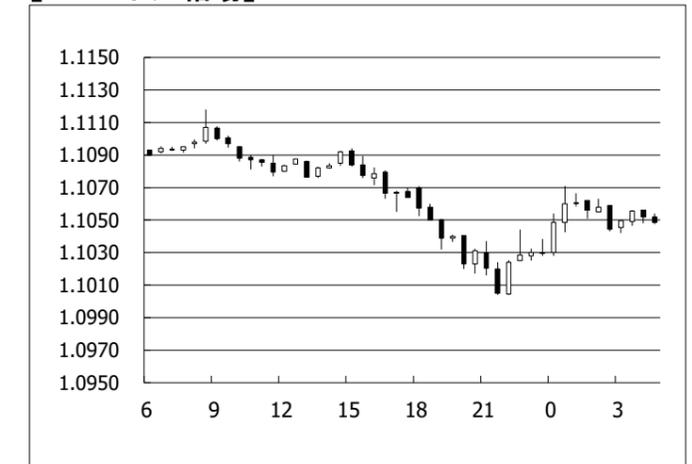
【対円騰落率(日次)】



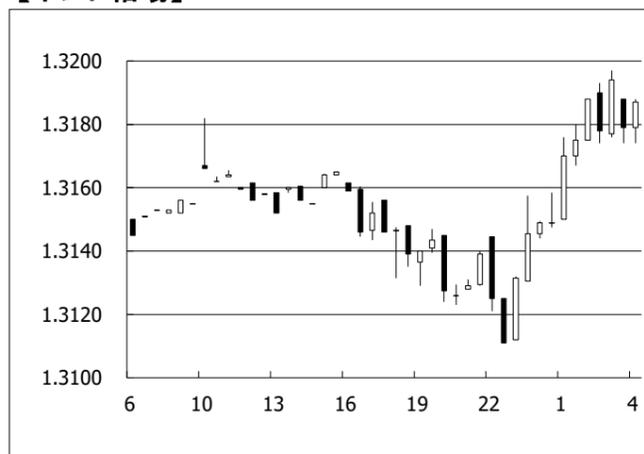
【ユーロ円相場】



【ユーロドル相場】



【ポンド相場】



【豪ドル相場】



東京	東京時間のドル円は118.50レベルでオープン。オープン直後に118.48を付けた後は、昨日の流れを引き継ぎじりじりとドルが買われた。一時118.80を付けるも、その後は材料なく方向感を欠く展開となり、118.77レベルで海外時間に渡った。なお、日銀政策決定会合では現行の金融緩和継続が決定されたが、既に市場織込み済みであり反応は限定的だった。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は118.77レベルでオープンし、ロシアの債務不履行懸念でドルの有事買いが再開し、119円台まで切り上げた。ロンドン時間の高値は119.13となり、119.05レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、日銀金融政策決定会合で日本が金利を上げる理由は全くないとの発言を受け円が売られる一方、週末を控え全般的にドルが買い戻される動きにじり高で推移し、FOMC結果発表後に付けたレベルである119.13まで上昇し、119.05レベルでNYオープン。朝方はウォー理事が「次回2回の会合で50bpの利上げを検討するべきだ」「初期段階に力を入れる利上げを支持」など効率的な発言伝わり、短期金利が上昇する展開に119.40まで上昇する。しかしその後はドル売りが優勢となり米2月中古住宅販売件数が予想を下回り、前回分も小幅に下方修正され、2月先行指数も予想と一致するものの、前回分が下方修正されたことから119.13まで反落する。その後一旦119.30まで戻す局面もあったものの、午後に伝わったパーキンリッチモンド連銀総裁の「インフレを食い止める必要があるが、過剰反応を回避しなければならない」との発言や、週末を控えた調整からじり安で推移し、119.15レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは、ドル買い戻しから上値を切り下げ1.1023レベルでNYオープン。朝方は前述のウォー理事の発言を受け1.1004まで下落するが、ドル買いが一巡し1.1044まで戻す。その後ユーロ円が上昇する中、ユーロドルも1.1071までサポートされる。午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1051レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。